

スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド
愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

お知らせ

「Morningstar Award “Fund of the Year 2009”」において
国内株式型部門の『最優秀ファンド賞』を受賞しました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2009”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2009年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型部門は、2009年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド645本の中から選考されました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

基準日 平成22年6月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス (%)	直近の分配実績 (円)			
	ファンド	JASDAQ		
過去1週間	-5.22	-2.32	第4期 (04/10/15)	50
過去1ヵ月間	-3.78	0.65	第5期 (05/10/17)	100
過去3ヵ月間	-6.95	-4.12	第6期 (06/10/16)	0
過去6ヵ月間	5.64	5.48	第7期 (07/10/15)	0
過去1年間	11.12	5.09	第8期 (08/10/15)	0
過去3年間	-32.37	-37.87	第9期 (09/10/15)	0
設定来	28.38	-24.11	設定来累計	950

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【信託財産構成比(%)】

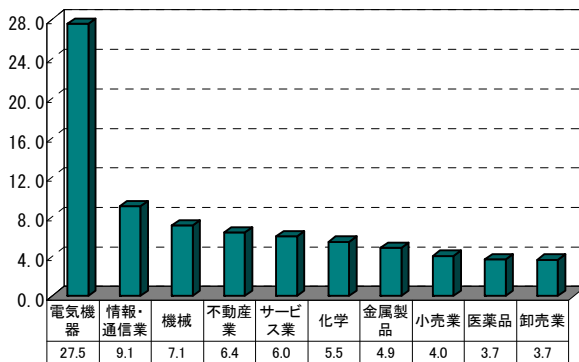
株式	98.1
現金・その他	1.9

※比率は対純資産

【市場別構成比(%)】

東証1部	58.2
ジャスダック	19.5
東証2部	9.9
ヘラクレス	5.3
その他市場	5.2
株式組入比率	98.1

【業種別構成比 上位10業種(%)】



※比率は対純資産

【基準価額および純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
11,800円	11,765円	11.93億円
ハードル価格: 17,153円		

※基準価額がハードル価格を超えると実績報酬が発生します。詳しくは「投資信託説明書(目論見書)」をご覧ください。



※当ファンドはJASDAQ指数に連動するものではありません。※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。

【組入株式上位10銘柄(%)】

(銘柄総数 54銘柄)

銘柄	市場	業種	比率
山一電機	東1	電気機器	4.11
ADEKA	東1	化学	3.47
東京製綱	東1	金属製品	3.47
日本ケミコン	東1	電気機器	3.40
富士通ゼネラル	東1	電気機器	3.39
ビットアイル	HC	情報・通信業	3.23
セイコーホールディングス	東1	精密機器	3.08
極東証券	東1	証券、商品先物	3.07
京三製作所	東1	電気機器	2.89
エレコム	JQ	電気機器	2.80

※略称は下記の取引市場を指します。 ※比率は対純資産

東1: 東証1部、東2: 東証2部、東M: 東証マザーズ、大1: 大証1部、大2: 大証2部、JQ: JASDAQ、HC: ヘラクレス

6月の株式市場は、先月に引き続き欧州諸国の財政問題の悪化が懸念されたこと、および、米国の経済指標が予想外に悪化したことを嫌気して軟調な展開となりました。この結果、TOPIXは前月末比4.43%の下落となりました。一方、当ファンドのベンチマークは前月末比0.65%の上昇となりました。この差異は、当ファンドのベンチマークにおいて構成比率の高いヤフーなどが、堅調な株価推移となった為です。

当ファンドのパフォーマンスは、前月末比で3.78%の下落となりました。これは、業績回復が顕著な製造業の組入比率をベンチマークと比べて高めていたものの当月は株価が低迷したこと、および、これまでパフォーマンスに貢献してきた富士通ゼネラルなどの銘柄がその反動で株価が低迷したことなどが主にマイナスに影響しました。一方で、公表された中期経営計画が好感されたセイコーホールディングスなどの株価上昇が主にプラスに貢献しました。

6月の売買行動としては、値上がりした銘柄などの売却を進めると共に、好業績基調であるアルミ電解コンデンサーメーカーの買い増しなどを行いました。現在の株式市場の参加者は、欧州の財政問題以上に中国、米国の経済動向を注視していると考えます。今まで順調に回復していた両大国の経済回復の鈍化の影響は大きいと考えております。しかし、ここ数週間の株式市場の反応はやや行き過ぎであると捉えています。経済対策の効果がなくなることはある程度想定された範囲内のことと思われ、これまで実態以上に株価が上昇したその反動が現れたものと考えます。

一方で日本の株式市場については、大手銀行の公募増資や新年度に入り買い手が不在になっていることが株価下落の要因であり、ファンダメンタルズは想定より悪化していないと考えております。子ども手当での支給開始、ボーナスの回復による改善が今後期待されると考え、懸念されている参議院選挙後の政局不安についても、小党との連立が明確になれば、政策も安定し市場も好感すると考えております。

このような環境認識のもとで、為替相場と中国経済および米国経済の動向がリスク要因と考えており、消費関連の内需銘柄への投資を中心に検討したいと考えてます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

ファンドの特色

1. 銘柄選定基準として、以下の点に着目して投資を行います。
中長期的に高い利益成長が期待される企業
収益力に対して株価が割安に放置され、かつ経営体質の改善等変化の兆しが認められると判断した企業
上記企業の成長、変化を支える優秀な経営陣、技術等を有している企業
2. ベンチマークはJASDAQ指数とします。
3. 株式の組入比率は、高位に保つことを原則としますが、株式市場が中長期的かつ大幅に下落すると判断される場合は、組入比率を低めることにより、可能な限り機動的、弾力的に対処します。

投資リスクについて

当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引などを活用することがありますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

(1) 株式投資リスク

当ファンドは、日本の株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。これらの株式は一般的に株式時価総額が小さく、流動性が低いいため、流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(3) 派生商品取引のリスク

当ファンドは先物取引などの派生商品に投資することがあります。これらの運用手法は、価格変動リスクを回避する目的等で用いられることがありますが、実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

(4) 一部解約による資金流出等に伴うリスク

大量の解約があった場合、保有有価証券を売却しなければならないことがあります。その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。

(5) 運用制限に伴うリスク

当ファンドの運用は、規制上または社内方針等により売買を制限されることがあります。したがって、これらにより当ファンドの運用実績に影響が及び可能性があります。

(6) 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることもあり、また、投資資金を回収できなくなることもあります。これらは基準価額が下落する要因となります。

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

お申込メモ (お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド (愛称:ライジング・サン)
商品分類	追加型投信 / 国内 / 株式
信託期間	平成12年10月19日から平成32年10月15日
繰上償還	残高口数が20億口を下回ることとなった場合などには約款所定の手続きを経たうえで、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させていただきます。また、委託会社は信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときには、受託会社と協議の上、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年10月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
お申込時間	販売会社で毎営業日お申込いただけます。原則として、お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	お申込単位および取扱コースは、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社に問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	解約単位は、販売会社が別途定める単位とします。お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。

解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払い致します。

お客様にご負担いただく手数料等について

* 下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

お申込手数料

3.15%(税抜3%)を上限として、販売会社が定める率をお申込受付日の基準価額に乘じた金額

【ご解約時】

信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に0.3%の率を乘じた金額

解約手数料

なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

信託報酬

純資産総額に対して年率1.785%(税抜1.7%)

実績報酬

基準価額がハードル価格を上回った場合、当該基準価額と当該ハードル価格の差額の12.6%(税抜12%)を費用計上。

実績報酬は決算期毎に信託財産から支払われ、ハードル価格も決算期毎に見直されます。

その他の費用等

- (1) 監査報酬、目論見書や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対し上限年率0.1%(税込))
- (2) 有価証券売買時の売買委託手数料(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません)

* 詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(お問い合わせ先)スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-5435-8200(受付時間:営業日9:00 ~ 17:00)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド

愛称:ライジング・サン

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会)(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会

信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

受託会社 住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

販売会社 下記参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)金融先物取引業協会	(社)日本証券投資顧問業協会
シティバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第623号 (特別会員)		
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第346号		
株式会社三井住友銀行 「インターネット・モバイル専用」	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号		

五十音順

[お問い合わせ先] スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-5435-8200(受付時間: 営業日9:00 ~ 17:00)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。